

令和7年度 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第20回） プログラム

期 日 : 令和7年5月29日（木）～31日（土）
 場 所 : 29～30日 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2F）
 31日 東京大学駒場 I キャンパス12号館（東京都目黒区駒場3-8-1）
 主 催 : 独立行政法人大学入試センター
 共 催 : 東京大学
 後 援 : 文部科学省，一般社団法人国立大学協会，一般社団法人公立大学協会，
 日本私立大学団体連合会，全国公立短期大学協会，日本私立短期大学協会

日 程 :

日 程	プログラム	時 間	会場
【1日目】 5月29日 (木)	自主企画セッション 「高校への効果的な情報提供手段 (コミュニケーション)を模索する」	13:00 ～ 15:00	一橋講堂
	全体会1 (センターセミナー) 「生成AIの入試活用」	15:30 ～ 18:00	
【2日目】 5月30日 (金)	主催者挨拶，来賓挨拶	9:40 ～ 10:00	一橋講堂
	全体会2 「入研協の温故知新：入研協に期待したこと、これから期待すること」	10:00 ～ 12:30	
	全体会3 「新課程の高校教育と大学入試の課題—「探究」に焦点を当てて」	14:00 ～ 17:00	
【3日目】 5月31日 (土)	研究会 オープンセッション (第1部) 第1セッション	9:30 ～ 11:40	東京大学 駒場 I キャンパス 12号館 (1212号室 1213号室 1214号室)
	第2セッション	9:30 ～ 11:40	
	第3セッション	9:30 ～ 11:40	
	オープンセッション (第2部) 第4セッション	13:30 ～ 15:40	
	第5セッション	13:30 ～ 15:40	
	研究会 クローズドセッション (第1部) クローズドセッション (第2部)	9:30 ～ 11:40 13:30 ～ 15:40	
交流の場	(研究会各セッション終了後20分間)		

自主企画セッション

「高校への効果的な情報提供手段（コミュニケーション） を模索する」

日 時 : 令和7年5月29日（木） 13:00～15:00

会 場 : 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター2F）

登壇者等 :

話題提供「学生募集における高校教員の役割：高校とのコミュニケーションの重要性」

..... 喜村 仁詞（岡山県立大学准教授）

報告①「高校訪問における期待と課題」

..... 永野 拓矢（名古屋大学准教授）

報告②「高校教員対象説明会の小規模な開催による広域展開」

..... 山田 貴光（富山大学特命教授）

報告③「高大連携による大学合同での高校教員対象説明会の開催」

..... 三宅 貴也（電気通信大学（元）特任教授）

指定討論「高校教員への効果的な情報提供（コミュニケーション）について」

..... 竹内 正興（香川大学教授）

内 容 :

本企画では、高校への効果的な情報提供手段について検討を行う。

これまでの先行研究や受験産業の調査から、高校生の大学選択における高校教員の影響の大きさが明らかにされてきた。そのため、高校教員の自大学理解を深め、高校生への推奨や、自大学志望の高校生からの進学相談に肯定的な対応をしてもらうことが必要である。

以前より、各大学は高校教員対象に高校訪問や大学説明会等を実施してきた。しかし、高等教育機関（競合）の多さや、当該大学への進学希望者が少ないなどの理由により高校側が自大学に関心を持たないケースも多く、これら取り組みの成果を実感しにくい大学も多いであろう。

そこで、本企画では、以下の3点の高校とのコミュニケーション事例（実施内容および高校教員の反応等）を紹介し、効果的な大学情報の提供についての検討を行う。

① 高校訪問における期待と課題

訪問する高校の選定、提供する情報の種類や形式・内容など、訪問先の高校教員の興味関心の喚起や高校内での情報共有に円滑にする取り組みなどについての報告を行う。

② 高校教員対象説明会の小規模な開催による広域展開

自大学や主要都市での高校教員対象説明会は多くの大学で実施されているが、会場ま

での所要時間や交通費負担が高校側にとって課題となる。そこで、高校教員対象説明会の多地域における小規模開催の取り組みについて報告を行う。参加校数が少なく深いコミュニケーションが行えること、高校教員が参加しやすいことなどがメリットとして挙げられる。

③ 高大連携による大学合同での高校教員対象説明会の開催

県外など、自大学への興味関心を持つ高校が多くない地域での活動も必要であろう。そこで、他の大学との合同開催を行うことで高校側にとってスケールメリットが生じさせている取組みを報告する。なお、本事例は全国の国公立大学間の協定に基づかないアドミッション部門による連携である。

全体会 1（センターセミナー）

「生成AIの入試活用」

日 時 : 令和7年5月29日（木） 15:30～18:00

会 場 : 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター2F）

司 会 : 宮澤 芳光（大学入試センター准教授）

パネリスト及びサブテーマ：

趣旨説明「生成AIの入試活用」

..... 石岡 恒憲（大学入試センター客員教授）

報告①「大学入試業務における生成 AI の活用可能性と範囲

ー自動作問技術に関わる学術的・社会的な動向を踏まえてー」

..... 宇都 雅輝（電気通信大学准教授）

報告②「企業における生成 AI の利用，ガイドライン，セキュリティ」

..... 鈴木 剛（リコーデジタル戦略部デジタル技術開発センター副所長）

報告③「AI 時代におけるテスト開発の未来 ～Finetune Generate®の事例から見るイノベ

ーション、倫理、セキュリティの両立における教育機関の対応～」

..... Simmy Ziv-el（Finetune by Prometric, Chief Strategy & Business Development Officer）

内 容 :

作問業務については教職員の負担が大きく、研究時間確保の観点からも負担軽減の必要性が指摘されている。その解決方法の一つとして、近年急速に技術が進展し、利用者が急増している高度な生成 AI の活用が考えられるが、公平性・公正性が求められる大学入試業務においては、その活用可能性やリスクについて十分な検討を行う必要がある。

本セミナーでは、

1. 大学入試業務における生成 AI の活用可能性と範囲を明らかにする
2. 生成 AI を活用する際の、生成 AI と人間の適切な役割分担、構築すべき情報環境やセキュリティ対策について、一定のガイドラインを示すことを目標とする。

全体会 2

「入研協の温故知新：

入研協に期待したこと、これから期待すること」

日 時 : 令和7年5月30日(金) 10:00~12:30

会 場 : 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター2F)

司 会 : 椎名 久美子(大学入試センター試験・研究副統括官)
川嶋 太津夫(神戸大学名誉教授, 大阪大学名誉教授)

パネリスト及びサブテーマ:

趣旨説明「入研協の温故知新：入研協に期待したこと、これから期待すること」

..... 川嶋 太津夫(神戸大学名誉教授, 大阪大学名誉教授)

報告①「入研協が目指したもの、成し遂げたこと」

..... 村上 隆(名古屋大学名誉教授, 中京大学名誉教授)

報告②「高等教育(入試)研究で入研協が果たした役割」

..... 荒井 克弘(東北大学名誉教授, 大学入試センター名誉教授)

報告③「高等学校関係者にとっての入研協の意義は」

..... 内田 隆志(全国高等学校長協会会長)

報告④「文部科学省が入研協に期待したこと、期待すること」

..... 片柳 成彬(文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室長)

内 容 :

全国大学入学者選抜研究連絡協議会(略称, 入研協)は, 2004(平成16)年の国立大学の法人化を契機に, 設置者にかかわらず, 我が国のより望ましい大学入学者選抜の在り方を広く協議する場として, 大学入試センターの事業の一つとして2006(平成18)年度に発足した。その背景には, 大学の収容力が90%を超え, 「大学全入時代」の到来が予想され, 大学入試における「選抜」から「相互選択」へのパラダイム転換が求められていたことがある。実際, 一般入試を通じた大学入学者は減少し続け, 2007(平成19)年度では56%, 特に私立大学を見れば50%を割り込んでいた。本来「相互選択」の入試にふさわしいアドミッション・オフィス入試(AO入試)は私立大学を中心に急速に拡大していたが, 同時に「学力不問」の入試ではないかとの懸念も示され, 当時の中央教育審議会でも「大学全入時代の高大接続の在り方」が議論された。入研協でも高大接続をキーワードにして, 高校教育, 大学教育, それらをつなぐ大学入試の在り方について, 全体会などで議論を重ねてきた。

加えて、各大学の入試担当者や研究者による入試に関する研究活動の発表及び情報交換の場として研究会を開催し、毎年数十件の研究が報告され、我が国と各大学における大学入試の検証と改善に貢献してきた。

入研協発足時と今日では大学入試を巡る状況は大きく異なり、大学の増加と予想を超える少子化により、発足時はカッコ付きであった「大学全入時代」は今やカッコなしの真の大学全入時代が到来している。実際、令和6年度入試では国公私立を合わせた募集人員が625,188人であったのに対して入学者は613,453人で、初めて募集定員を下回った。

さらに、この間、大学入試だけでなく高校教育と大学教育の一体的な改善を目指す「高大接続改革」が国をあげて取り組まれ、大学入試センター試験から大学入学共通テストへの移行や、多面的・総合的選抜の重視など、現在の大学入試のあり方にも大きな影響を与えてきた。

今回、一つの区切りとなる入研協大会第20回を迎えるにあたって、改めて入研協発足時のキーパーソンから入研協の原点をお聞きするとともに、高等教育研究者、そして大学入試の重要なステークホルダーである高等学校関係者、また政策担当者にも参加いただき、急速な少子化社会に向かって岐路に立つ我が国の大学入試と大学入試研究そして入研協のこれからの在り方を、参加者とともに議論する場としたい。

全体会 3

「新課程の高校教育と大学入試の課題 — 「探究」に焦点を当てて」

日 時 : 令和7年5月30日(金) 14:00~17:00

会 場 : 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2学術総合センター2F)

司 会 : 中島 範行(富山県立大学教授)・畠山 禎(北里大学教授)

パネリスト及びサブテーマ

趣旨説明「新課程の高校教育と大学入試の課題—「探究」に焦点を当てて」

..... 中島 範行(富山県立大学教授)

基調講演「何のための探究か~これからの高大接続について考える~」

..... 荒瀬 克己(独立行政法人教職員支援機構理事長)

報告①「高校での探究学習の実態」

..... 本谷 一(北海道ニセコ高等学校長)

報告②「高校の探究学習の実態調査と探究学習で育成される非認知能力の測定方法」

..... 池田 文人(大阪公立大学教授)

報告③「新課程や探究の主旨に即した学習のあり方と探究学習の過程や成果の評価」

..... 本郷 真紹(立命館大学特命教授)

内 容 :

2022年から実施された学習指導要領の改定では、変化の激しい時代を「生きる力」を育むため、「探究」が重要視されている。探究学習とは、生徒自らが課題を設定し、解決に向けて情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動のことで、生徒の思考力や判断力、表現力などの育成を目的としている。この目標を実現するにあたり、それにふさわしい探究課題の設定が鍵となるが、「探究学習」は新しく必修化されたばかりのため前例が乏しく、授業の目標や展開方法、教材は学校や教員に委ねられているのが現状である。このため、教師の準備、時間の余裕、教材作りなどの負担感や生徒の学習やその効果への懸念などの課題があげられ、探究学習は、学校ごと・教員ごとにその温度差が大きく異なるのが実態である。

本セッションでは、高校や大学等の「探究」に関与する先生をお迎えし、「探究」に焦点を当てながら新課程の高校教育と大学入試をテーマに取り上げる。まず、基調講演で、現指導要領の導入の経緯や現状、高校、高大接続での課題、次期指導要領改訂の見通し等についてご講演いただく。次に、高校での探究学習の実態や課題は。大学での教育と接続できているのか、接続は適切になされているか。入試では、「探究」で培われた能力等を評価できているか。新しいタイプの入試は、どのようなものになるのか、そして今後入試はどう変わっていくか。といった点について高校や大学の現場から報告を伺い、全体討論につなげ、これらを議論する場としたい。

研究会（オープンセッション）

【第1セッション】〔入試広報〕

日 時：5月31日（土）9：30～11：40
会 場：東京大学駒場Iキャンパス12号館 1212号室
司 会：木村 智志（九州工業大学）・齋藤 朗宏（北九州市立大学）

発 表：

- ① 9：30～9：50
「在学生の自大学推奨意向の向上に寄与するプログラムの開発」
喜村 仁詞（岡山県立大学）
- ② 9：50～10：10
「地方国立大学の入試広報活動（3）
——富山大学の事例——」
山田 貴光（富山大学）
- ③ 10：10～10：30
「単科大学におけるオンライン大学説明会の効果」
木村 智志，岩村幸美，寺田登与徳（九州工業大学）
- （10：30～10：40 休憩）
- ④ 10：40～11：00
「自然言語処理を用いたWeb広報支援方法の検討」
齋藤 朗宏（北九州市立大学）
- ⑤ 11：00～11：20
「オープンキャンパス参加が出願数と入試出席率に与える影響」
山田 恭子，川端 ひなた，高良 健作（琉球大学）
- ⑥ 11：20～11：40
「入試広報事業の記録について
——新潟大学における高校教員対象事業を対象として——」
吉田 章人（新潟大学）
- 11：40～12：00
研究発表者と参加者との交流の場

【第2セッション】〔高大接続〕

日 時：5月31日（土）9：30～11：40
会 場：東京大学駒場Iキャンパス12号館 1213号室
司 会：荻谷 千尋（金沢大学）・牧野 直道（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「佐賀大学における高大接続改革事業の総合的検証
——CBT, 特色加点制度, とびらプロジェクトを対象に——」
西郡 大（佐賀大学）

② 9：50～10：10

「理系単科大学で開催する高大接続プログラムの意義」
藤井 恒人（東京農工大学）

③ 10：10～10：30

「高校生の志願先決定時期に関連する諸要因の検討
——東北大学合格者の分析から——」
林 如玉, 宮本 友弘, 大野 真理子, 倉元 直樹, 長濱 裕幸（東北大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「高大接続の経験が大学生の学習姿勢にどのような影響を与えるか
——高大接続プログラムの取り組みと追跡調査」
荻谷千尋, 田中千晶, 中野正俊（金沢大学）

⑤ 11：00～11：20

「高大接続入試における入試成績と入学後の学業成績の相関」
大久保 貢（福井大学）

⑥ 11：20～11：40

「高大連携に向けた探究学習に関する実態調査
——北海道・大阪を対象として——」
山下 尚子, 池田 文人（大阪公立大学）

● 11：40～12：00

研究発表者と参加者との交流の場

【第3セッション】〔公平性, 海外大学〕

日 時：5月31日（土）9：30～11：40
会 場：東京大学駒場Iキャンパス12号館 1214号室
司 会：深谷 和義（椙山女学園大学）・江幡 知佳（大学入試センター）

発 表：

① 9：30～9：50

「女子生徒の理工系進学・理工系女性人材育成に関する各大学の取組の現況」
岩村 幸美, 寺田 登与徳, 木村 智志（九州工業大学）

② 9：50～10：10

「『女子枠』と性差別
——国際的議論を踏まえた導入の課題——」
國武 悠人（慶應義塾大学）

③ 10：10～10：30

「全国的女子大学における入学定員充足率の現状」
深谷 和義, 小杉 裕子（椙山女学園大学）

（10：30～10：40 休憩）

④ 10：40～11：00

「全国学力・学習状況調査の付帯調査にみる大学進学率地域間格差の遠因」
倉元 直樹（東北大学）, 延沢 恵理子（山形県立東桜学館中学校・高等学校）

⑤ 11：00～11：20

「台湾の大学入学者選抜制度にみる格差是正措置」
小野寺 香（奈良女子大学）, 石井佳奈子（立正大学）, 小川佳万（広島大学）

⑥ 11：20～11：40

「中国における入試改革に関する事例的検討（2）
——北京市の取り組みに着目して——」
翁 文静（九州大学）, 宮本友弘, 林如玉（東北大学）

● 11：40～12：00

研究発表者と参加者との交流の場

【第4セッション】〔多様な選抜方法〕

日 時：5月31日（土）13：30～15：40
会 場：東京大学駒場Iキャンパス12号館 1212号室
司 会：森川 修（鳥取大学）・寺尾 尚大（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「国立大学における大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の検証
——実施時期に関する大学間比較——」

雨森 聡（静岡大学），吉田 章人（新潟大学）

② 13：50～14：10

「大学入学共通テストの段階表示を合否判定に用いた新入試の実施
——2025年度鳥取大学工学部総合型選抜Ⅱの事例——」

森川 修，進藤 明彦，山根 俊喜（鳥取大学）

③ 14：10～14：30

「早期合格者の特性を反映させた入学前教育の設計とその効果」

露木 隆，西郡 大（佐賀大学）

（14：30～14：40 休憩）

④ 14：40～15：00

「国立大学入学者選抜における多様化の様相」

大野 真理子，宮本 友弘（東北大学）

⑤ 15：00～15：20

「不本意志願者における志望大学選択の特徴」

大塚 智子（高知大学）

⑥ 15：20～15：40

「大学試験場におけるBYOD型CBTの試行実験

——受験者自身による受験環境の事前準備と端末の多様性制御に着目して——」

寺尾 尚大（大学入試センター），西郡 大（佐賀大学），宮本 友弘（東北大学）

● 15：40～16：00

研究発表者と参加者との交流の場

【第5セッション】〔追跡調査, 教科試験, 定員厳格化〕

日 時：5月31日（土）13：30～15：40
会 場：東京大学駒場Iキャンパス12号館 1213号室
司 会：日下田 岳史（大正大学）・桜井 裕仁（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「総合型選抜における評価と入学後のコンピテンシー評価の関連についての考察」
宮浦 崇, 木村 智志, 岩村 幸美, 寺田 登与徳, 大石 哲也（九州工業大学）

② 13：50～14：10

「選抜区分による成績推移
——TOEICとGPAを指標として——」
天野 哲彦（岩手県立大学）

③ 14：10～14：30

「大学入学時点における大学観、社会観の変遷
——13年間の新入生アンケート調査から——」
陣内 未来, 山本 以和子（京都工芸繊維大学）

（14：30～14：40 休憩）

④ 14：40～15：00

「Validity of Higher-Order Thinking Skill Questions in an English Entrance Exam」
Hiroko UEDA (Kobe University)

⑤ 15：00～15：20

「EMIU情報模試2025春の実施と結果速報」

植原 啓介（慶應義塾大学），角田 博保（電気通信大学），笈 捷彦（東京通信大学），
高橋 尚子（國學院大学），辰己 丈夫（放送大学），谷 聖一（日本大学），中野 由
章（工学院大学），中山 泰一（電気通信大学），西田 知博（大阪学院大学），萩原
兼一（大阪大学），坂東 宏和（獨協医科大学），安田 豊（京都産業大学）

⑥ 15：20～15：40

「入学定員管理の厳格化政策は全国の私立大学にどのような影響を与えたか
——入試・教育・経営の各観点から——」

日下田 岳史（大正大学），柳浦 猛（筑波大学），福島 真司（大正大学），山地 弘起（大
学入試センター）

● 15：40～16：00

研究発表者と参加者との交流の場

研究会（クローズドセッション）

※クローズドセッションは、大学関係者のみが参加できる企画です。

【第1部】〔多様な受験生，追跡調査〕

日 時：5月31日（土）9：30～11：40
会 場：東京大学駒場Iキャンパス12号館 1222号室
司 会：林 寛子（山口大学）・橋本 貴充（大学入試センター）

発 表：

- ① 9：30～9：50
「多様な背景を持った人を対象とする選抜に対する意識」
立脇 洋介（九州大学）
- ② 9：50～10：10
「留学生選考における大学デジタル支援のあり方
——大阪大学国費研究留学生大使館推薦候補者の受入内諾取り付け支援の事例から——」
李 燕（大阪大学）
- ③ 10：10～10：30
「IB生フォローアップの利点
——入学から卒業まで——」
マハムド サビナ（岡山大学）
- (10：30～10：40 休憩)
- ④ 10：40～11：00
「学習基礎力の入試区分間比較」
吉村 宰（長崎大学）
- ⑤ 11：00～11：20
「共通テスト後の出願校決定は入学後の成績に影響を与えるのか
——K大学一般選抜前期日程入学者の志望順位に着目して——」
竹内 正興（香川大学）
- ⑥ 11：20～11：40
「地方国立大学入学者の地域間移動にみる大学進路選択」
林 寛子（山口大学）
- 11：40～12：00
研究発表者と参加者との交流の場

【第2部】〔教科「情報」，入試方式〕

日 時：5月31日（土）13：30～15：40
会 場：東京大学駒場Iキャンパス12号館 1222号室
司 会：平井 佑樹（信州大学）・荒井 清佳（大学入試センター）

発 表：

① 13：30～13：50

「高等学校情報科の履修状況に関するアンケート結果を用いた追跡調査」
平井 佑樹，鈴木 治郎（信州大学）

② 13：50～14：10

「大学入学共通テスト『情報』の初年度における東北大学志願者の結果分析」
宮本 友弘，大野 真理子，林 如玉，倉元 直樹，長濱 裕幸（東北大学）

③ 14：10～14：30

「情報Iにおける共通テスト本試験と企業公開模試の比較」
寺田 登与徳（九州工業大学）

（14：30～14：40 休憩）

④ 14：40～15：00

「共通試験における『理科』の問題形式の経年変化と科目間比較」
伊藤 圭，荒井 清佳（大学入試センター）

⑤ 15：00～15：20

「英語スピーキング力の評価はいかにして大学入試に取り入れ可能か
——ニュージーランドの入試制度事例をふまえて——」
植阪友理（東京大学），Manalo Emmanuel（京都大学）

⑥ 15：20～15：40

「観点別学習状況の評価に対する高校生の認識
——高校生対象アンケートから——」
永野 拓矢，寺島裕登，橘春菜，石井秀宗（名古屋大学）

● 15：40～16：00

研究発表者と参加者との交流の場